

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門					教総-06 中学校運営事業			ザイムスコード及び個別事業名		
	主管課 教育総務課					関連課	部内各課・市立中学校		151	中学校運営事業	
分野名	学校教育								1100	中学校運営事業	
目標 (目標値)	限られた予算額の範囲内で効率的な予算執行に努める										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考							
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯								
	対象者数	3,011人	2,903人								
運営資源 状 況	決算値	80,462千円	60,071千円								
	(国・県)	19,855千円									
	(負担金等)										
	(一般財源)	60,607千円	60,071千円								
	人員配置数	1.5人	1.5人								
	人 件 費	14,162千円	14,056千円								
	協 働 の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費	94,624千円	74,127千円								
	市民1人当 りの経費	536円	420円								
	対象者1人 当りの経費	31,426円	25,535円								
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市					
	公立学校数	15	9	19	12	13					
	公立生徒数	6,692	3,011	10,004	5,111	5,679					
	公立学級数	191	88	282	146	162					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・学校備品が老朽化しており、計画的な更新が必要である。購入年次、利用状況等を考慮するとともに、緊急性を伴うものから優先順位をつけ、少ない予算額の中で、効率的な更新が求められた。									
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・各学校の当該年度の学校配当予算額の範囲内で予算科目間の増減調整を行い、各学校の運営実態にあわせた予算化を図っている。									
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・各学校が購入する物品のうち、全校に共通する品目(消耗品や清掃用品)については、教育委員会が入札して一括購入し、購入コストの低減化を図った。しかし、一部の備品については、納品時期が異なるなどの理由により学校ごとに単独で購入した。入札による一括購入により、さらに購入コストの低減化が図られる。購入方法について改めていきたい。									
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・学校予算の執行方法等について学校職員とともに見直し、限られた予算を運営実態にあわせて執行できるよう、入札などによるコストの低減化をさらに図りたい。									
一次評価(課長評価)						二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性					評価結果	改善の必要性				
B	無	限られた予算額の範囲内で効率的な予算執行に努め、より安定した学校運営を支援したい。				B	無	予算額の範囲が限られていることについては、今後も各学校の理解を得ながら、充実した学校運営を支援したい。			
課長名		教育総務課長 三留 定男				部名・部長名		教育総務部・宮田 茂昭			